

令和7年度
鹿児島高専テクノクラブ事業報告



令和8年6月

鹿児島高専テクノクラブ

鹿児島高専テクノクラブ（Kagoshima-Kosen Techno-Club：KTC）は、平成10年3月に地域企業と鹿児島工業高等専門学校との産学官交流組織「錦江湾テクノパーククラブ」として設立以降、産・学・官の連携活動を行ってまいりました。平成28年4月には名称を「鹿児島高専テクノクラブ（KTC）」と変更し、令和5年3月、設立25周年を迎えました。

鹿児島高専テクノクラブには、126社（令和8年4月現在）の会員企業と、鹿児島県商工労働水産部、鹿児島県工業技術センター、かごしま産業支援センター、霧島市、日置市、薩摩川内市、鹿屋市、鹿児島市、曾於市等19の公的機関が特別会員として加入しています。年3回の技術研修会、研究施設見学会、地域企業研究会、鹿児島高専学生のインターン、鹿児島高専教員との共同研究など、本クラブの活動は益々活発になってきております。

鹿児島高専テクノクラブは、鹿児島工業高等専門学校を核とした、産学官の技術・研究交流と協働による人材教育を通じて、地方創生と地域活性化に資することを目的としており、そのための活動として、

- (1) 産学官による共同研究の推進
- (2) 産学官による技術的、人的交流の推進
- (3) 産業界の技術向上、技術情報に関する支援
- (4) 鹿児島工業高等専門学校の学生教育への支援

を行っています。

令和7年度の主たる事業活動を、表1に示します。

表1 令和7年度 KTC 事業活動（*共催事業含む）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">(1) 鹿児島高専テクノクラブ役員会・総会・第1回技術研修会
6月13日（金）(2) 鹿児島高専テクノクラブ第2回技術研修会
9月19日（金）(3) 鹿児島高専テクノクラブ第3回技術研修会
3月5日（火）(4) 高専生のための地域企業研究会
12月2日（火）(5) KTC 会長賞審査会
2月20日（金）(6) KTC 会員企業施設見学会
3月12日（木）(7) KTC 会員若手社員人材育成事業
10月～3月(8) 地域創生推進事業支援
10月15日（水）・11月5日（水）・11月19日（水）(9) *保護者向けキャリアセミナー
5月24日（土）(10) *KTC インターン（有償）
8月下旬～9月末、2月下旬～3月末 |
|---|

【鹿児島高専テクノクラブ役員会・総会・第1回技術研修会】

令和7年6月13日（金）、「令和7年度 鹿児島高専テクノクラブ役員会・総会・第1回技術研修会」をホテル京セラにて開催し、KTC 会員企業 52 社をはじめ本校教職員等 107 名の参加がありました。

はじめに、KTC 鎌田副会長、上田校長からの挨拶の後、令和7年度総会を開催しました。総会では事業関係及び決算・予算関係の報告と審議が行われ、課外活動を始め様々な分野で活動する学生支援を目的とした予算確保も承認いただきました。総会の最後には、令和7年度に入会された(株)コスモテック、(株)エルム、(株)岩田組、三光機械(株)からそれぞれご挨拶いただきました。

その後特別講演として、(株)トヨタ車体研究所 久富 あすか氏(本校OG)による「AIブームと産業応用について」と題し、AIについて正しく理解し正しく活用したうえで、最終的には人間の認識による判断が重要であることから、AI・データ解析に関わる人材育成が大切である旨の説明があり、実際にAIを活用した、生産性向上に向けた取組み等の事例紹介がありました。後半では、来年度から実施される鹿児島高専の学科再編(現行の5学科制から1学科・3類・5コース制)に関する説明とKTCインターンの事例紹介があり、引き続き始良・伊佐地域振興局及び鹿児島県産業立地課からそれぞれイベント開催に関する紹介がありました。

また、交流会において本校OB・OG16名を含む、これまで最多の86名の参加がありました。中重霧島市長の挨拶と乾杯のご発声で始まり、途中OB・OGの近況報告等もあり大変盛況な交流会となりました。

【役員会・総会】

日 時：令和7年6月13日（金） 12：00～15：20

会 場：ホテル京セラ 本館地下2階 凜の間

会 次 第

1. 議 題

(1) 総会について

- ① 令和6年度事業報告について
- ② 令和6年度決算報告書について
- ③ 令和6年度会計監査報告について
- ④ 令和7年度事業計画(案)について
- ⑤ 令和7年度予算書(案)について
- ⑥ 役員の改選について

(2) 役員の改選について

(3) その他

2. 報告事項

(1) 入会・退会企業について

(2) その他

【技術研修会】

日 時：令和7年6月13日（金） 15：30～17：10

会 場：ホテル京セラ 本館地下2階 凜の間

会 次 第

1. 特別講演 15：20～16：10
演題：「AI ブームと産業応用について」
講師：(株) トヨタ車体研究所 デジタルエンジニアリング部 久富 あすか 氏
2. 高専の新学科設置に関する説明 16：10～16：40
3. KTCインターンについて 16：40～17：00
4. 事務局からのお知らせ 17：00～17：10
新規入会企業紹介
研究シーズ集等の紹介



<鎌田副会長挨拶>



<久富氏講演の様子>



<交流会の様子>

【鹿児島高専テクノクラブ第2回技術研修会】

令和7年9月19日（金）、「令和7年度 鹿児島高専テクノクラブ第2回技術研修会」をホテル京セラにて開催し、KTC 会員企業 32 社をはじめ本校教職員等 81 名の参加がありました。

特別講演では、DX の取組事例として、「付加価値ファーストの製造業の DX 戦略：旭鉄工/iSTC の挑戦とデータドリブン経営」と題し、i Smart Technologies (株) COO 松下 隼人 氏（本校 OB）に、「建設業における社内 DX と現場 DX の取り組み事例と効果について」と題し、ヤマグチ (株) 代表取締役副社長山口 秀典 氏にご講演いただきました。

続いて、鹿児島高専教員の研究紹介として、都市環境デザイン工学科 村上 光樹 助教による研究紹介があり、最後に、令和7年9月までに鹿児島高専テクノクラブに入会された(株)九電工鹿児島支店、濱田酒造(株)からご挨拶をいただきました。

参加者からは、「DX の進め方や考え方がよく理解できた」「最新の技術を積極的に取り入れて推進し、常に変化することを全社で取り組みされていることが素晴らしい」などの感想があり、非常に有意義な技術研修会となりました。

また、技術研修会後の交流会においても本校 OB・OG9 名を含む、65 名の参加がありました。中重霧島市長の挨拶と乾杯のご発声で始まり、大変盛況な交流会となりました。

【技術研修会】

日 時：令和7年9月19日（金）14：30～17：10

会 場：ホテル京セラ 本館地下2階 凜の間

会 次 第

1. 開会 14：20～
2. 主催者挨拶 14：20～14：30
3. 技術研修会
 - (1) 特別講演 14：30～15：30
演題：「付加価値ファーストの製造業のDX戦略：旭鉄工/iSTCの挑戦とデータドリブン経営」
講師：i Smart Technologies（株）COO 松下 隼人 氏
 - (2) 特別講演 15：40～16：10
演題：「建設業における社内DXと現場DXの取り組み事例と効果について」
講師：ヤマグチ（株）代表取締役副社長 山口 秀典 氏
 - (3) 鹿児島高専教員の研究紹介 16：10～16：40
都市環境デザイン工学科 村上 光樹 助教
4. 事務局からのお知らせ 16：40～17：10
新規入会企業紹介
アンケート 他



<会場全景>



<鶴ヶ野会長挨拶>



<山口氏講演の様子>

【鹿児島高専テクノクラブ第3回技術研修会】

令和8年3月5日（木）、「令和7年度 鹿児島高専テクノクラブ第3回技術研修会」が本校を会場に開催され、KTC会員企業31社をはじめ本校教職員等77名の参加がありました。

研修会のテーマは昨年度の第3回技術研修会に引き続き「鹿児島高専学生の活動紹介」として、「高専ロボコン2026」全国大会に10年ぶりに出場を果たしたメカトロニクス研究部の活動紹介とロボット実演がありました。続いて、メカトロニクス研究部との共同研究報告として（株）マルマエの五十嵐氏が共同研究に至った経緯や現在の取組状況等について紹介がありました。最後に、本校在学中に起業した情報工学科5年の中元悠仁氏が『「当たり前」を疑い、思考の枠を拡張する』の演題の講演と、最後に創造設計部の活動紹介がありました。

参加者からは「学生活動の理解を深めつつ、共同研究の取り組み方をシェアいただけるなど、総じて満足度の高い内容だった。」「学生の技術力の高さに驚いた。」「学生とは思えない視座の高さに感銘を受けた。」等の多数の意見が寄せられ、大変有意義な技術研修会となりました。

【技術研修会】

日 時：令和8年3月5日（木）14：00～17：10

会 場：鹿児島工業高等専門学校

第一体育館、学年横断学科縦断講義室

会 次 第

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 開会 | 14：00～ |
| 2. 主催者挨拶 | 14：00～14：05 |
| 3. 研修会 | |
| (1) 実演見学・活動紹介（メカトロニクス研究部） | |
| ①実演見学 | 14：05～14：15 |
| ②活動紹介 | 14：15～14：30 |
| ③見学・質問コーナー | 14：30～14：55 |
| (2) （株）マルマエとメカトロニクス研究部の共同研究報告 | 15：10～15：30 |
| (3) 学生による講演 | 15：30～16：30 |
| 演題：「当たり前」を疑い、思考の枠を拡張する | |
| ―旅とドローン、映像制作を軸に5年間の高専生活が広げた私の可能性― | |
| 講師：情報工学科5年 中元 悠仁 氏 | |
| (4) 学生の活動紹介 | 16：30～16：50 |
| 4. 事務局からのお知らせ・新規入会企業紹介 | 16：50～17：00 |



<鶴ヶ野会長挨拶>



<メカトロニクス研究部活動紹介>



<五十嵐氏講演の様子>



<中元氏講演の様子>



<中重市長挨拶・乾杯>



<上田校長へ退任記念品>

【高専生のための地域企業研究会】

令和7年12月2日（火）、霧島市隼人体育館にて「令和7年度高専生のための地域企業研究会」を開催しました。本校の産学官交流組織である鹿児島高専テクノクラブ（KTC）会員企業78社がブースを設置し、学生・保護者含め約350名が参加しました。

本研究会は学生が地域企業についてより理解を深めることを目的としており、地域創生推進事業の一環として継続開催しているものです。具体的には、地域企業が持つ技術力や研究・開発への取り組み状況、それらの地域企業で活躍しているOB・OGからの生の声、地元企業で働くことの魅力等、今後の就職活動を行うための知識の習得、就職の選択肢として地元企業に関する情報収集等の機会にもなっています。

学生からは、「地域企業のことを知ることができ、とても勉強になった。」「今までは県外志望だったが、今日の活動で県内の企業に対して興味が湧いてきた。」という感想や意見がありました。

また、参加企業の方からは、「多くの学生に意欲的に話をきいてもらったので、会社を知ってもらい良い機会になった。」「業界としてなかなか知名度がない中で、このような貴重な機会をいただき、少しでも業界の魅力や重要性などを知っていただく機会となった。」等、多くの意見が寄せられました。

日 時：令和7年12月2日（木） 14：00～16：10

会 場：霧島市隼人体育館

参加企業：KTC 会員企業

対象学年：本科4年生（約200名）、1～3年生・保護者（希望者）

機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、情報工学科、都市環境デザイン工学科
専攻科1年生(自由参加)

実施方法：対面ブース形式



<鶴ヶ野会長挨拶>



<企業研究会全景>



<機械・制御系ブース>



<電気・情報系ブース>



<土木・建築系ブース>



<企業研究会全景>

【KTC 会長賞審査会】

日 時：令和 8 年 2 月 20 日（金） 14：00～15：30
会 場：鹿児島高専 管理棟 2 階中会議室

KTC 会長賞は、KTC 会員との共同研究の内容を含む卒業研究・特別研究や鹿児島県内・県外の一般企業との共同研究の内容を含む研究課題で、推薦された学生を対象に会長名にて表彰を行うもので、毎年 KTC 会長賞審査会を開催しています。

令和 7 年度は 5 件の研究発表があり、電子制御工学科 5 年の林 昂佑さんと機械・電子システム工学専攻 2 年の吉川 音々さんが鹿児島高専テクノクラブ会長賞を受賞しました。受賞者は以下のとおりです。

○鹿児島高専テクノクラブ会長賞

- ・電子制御工学科 5 年 林 昂佑
共同研究先 株式会社マルマエ
研究題目 「脳卒中片麻痺患者の肘伸展リハビリ装置の新機構提案」
- ・機械・電子システム工学専攻 2 年 吉川 音々
共同研究先 鹿児島県工業技術センター
研究題目 「Ni を用いた AZO/Ag/Ni/AZO 多層型透明導電膜における特性改善」

○鹿児島高専テクノクラブ奨励賞

- ・都市環境デザイン工学科 5 年 荒武 匠弥
共同研究先 インフラテック株式会社
研究題目 「高炉スラグ微粉末を主体としたセメントレスコンクリートの開発」
- ・都市環境デザイン工学科 5 年 福迫 ゆい
共同研究先 鎌田建設株式会社
研究題目 「積算温度に基づく現場打ちコンクリートの若材齢強度推定」
- ・機械・電子システム工学専攻 2 年 竹田 昂平
共同研究先 株式会社マルマエ
研究題目 「促通反復療法に基づく片麻痺肘関節伸展機能回復訓練装置の開発」



<会長賞:林さん>



<林さん発表の様子>



<会長賞:吉川さん>

【KTC 会員企業施設見学会】

令和 8 年 3 月 12 日（木）に KTC 会員企業の企業見学会を行い、会員企業 44 名、教職員 27 名、学生 14 名の参加がありました。今年度から希望する学生と保護者についても参加可能とし、見学先は参加人数等を考慮して A・B・C コースの 3 つのコースに分かれて実施されました。

参加者から「独自性のある特徴的な企業を選定していただき勉強になった。」「見学させていただいた企業のどちらも地域特有の仕事内容や時代に沿った働き方の制度など、とても学びの多い見学会になった。」等の声が寄せられ、会員企業の会社情報等を知る貴重な機会となりました。

見学先等の詳細は次のとおりです。

日 時:令和 8 年 3 月 12 日(木) 9:30～16:45

対 象:KTC 会員及び鹿児島高専教職員、鹿児島高専学生

A コース 南薩方面（参加：34 名）

9:30	鹿児島高専出発
10:45～12:15	株式会社エルム
12:30～13:15	昼食（旬房みやわき）
13:45～15:15	三豊機工株式会社
16:30	鹿児島高専到着

B コース 伊佐市方面（参加：29 名）

9:00	鹿児島高専出発
10:00～12:00	住友金属鉱山株式会社菱刈鉱山
12:40～13:30	昼食（麴の里バレルバレープラハ&GEN）
13:45～15:15	株式会社信栄製作所 鹿児島工場
15:45	鹿児島高専到着

C コース 大隅方面（参加：22 名）

9:30	鹿児島高専出発
11:00～12:15	株式会社全農サイロ
12:30～13:15	昼食（うなぎの駅）
14:00～15:30	日本モレックス合同会社 鹿児島サイト
16:45	鹿児島高専到着



<A:エルム>



<B:住友金属鉱山>



<C:全農サイロ>



<A:三豊機工>



<B:信栄製作所>

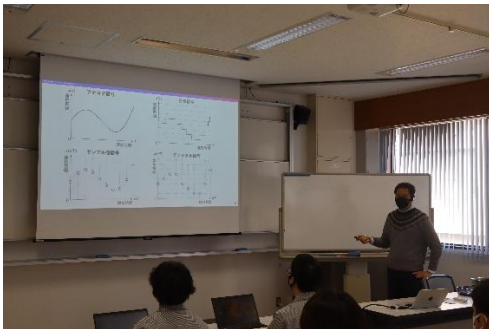


<C:日本モレックス>

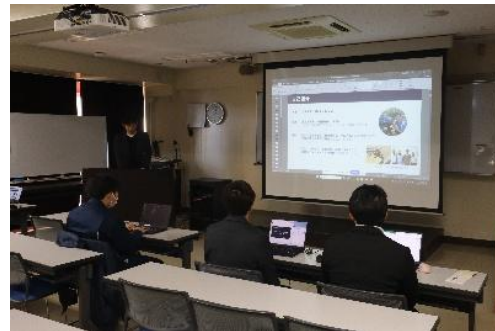
【若手社員人材育成事業】

KTC 会員企業の若手社員を対象とした「若手社員人材育成事業」を令和 7 年 11 月～令和 8 年 2 月までの約 4 か月間にわたり実施しました。今年度は、新たな取り組みとして鹿児島高専教員を講師に、講座Ⅰ「MATLAB を用いたデジタル信号処理入門」、講座Ⅱ「Python を使った『機械学習（回帰分析）』入門」の二つのテーマで実施し、会員企業 8 社から 20 名、本校教職員 3 名、計 23 名の参加がありました。

参加者からは、「講義内容については専門的で難しい部分もあったが、社内のデータ解析や業務改善に活かしたい」等の意見が多数寄せられました。



<講座1の様子>



<講座2の様子>

【地域創生推進事業支援】

令和7年10月15日（水）に1年生を対象とした地域企業特別講義、11月5日（水）に2年生を対象とした地方創生特別講義、11月19日（水）に3年生を対象とした地域企業・現場見学を実施しました。本事業は、学生が地域企業を知ると同時に、将来技術者になるための知見を広め、地域企業がどのような専門技術を有しているか、地域企業に就職を希望する場合の参考になるように実施しているものです。

講義では、地域企業の魅力をはじめ、高専での学びが地域企業でどのように活かされ、どのように活躍できるか等、地域企業への理解を深めるとともに、学びのモチベーションを高めるきっかけとなる内容について講演いただきました。各社から、企業紹介・地元企業の魅力・本校のOBの業務内容やアドバイス、また地方自治体から、地方創生について・各自治体の取り組み等のお話があり、地域企業について知り、将来について考える機会となりました。また、企業見学では実際の工場の様子や現場を見ることができ、とても貴重な経験となりました。

KTCでは、これらの地域人材育成事業の取り組みに対し、会員企業（一般・特別）の協力を得て以下のように講師派遣を行いました。

実施内容	クラス	日時	講師派遣企業等
地域企業特別講義	1-1	10月15日（水）	フェニテックセミコンダクター（株） 京セラ（株） 大福コンサルタント（株）
	1-2		
	1-3		
	1-4		住友金属鉱山（株） （株）エルム
	1-5		（株）国土技術コンサルタンツ
地方創生特別講義	2M	11月5日（水）	始良市：企画部企画政策課 霧島市：企画部企画政策課
	2E		
	2S		
	2I		日置市：総務企画部企画課 霧島市：建設施設管理課
	2C		
地域企業・現場見学	3M	11月19日（水）	フェニテックセミコンダクター（株）
	3E		ソニーセミコンタクタマニュファクチャリング（株）
	3S		（株）トヨタ車体研究所
	3I		（株）九州タブチ
	3C		ヤマグチ（株）



<1年生 地域企業特別講義>



<2年生 地方創生特別講義>



<3年生 企業見学>



<1年生 地域企業特別講義>



<2年生 地方創生特別講義>



<3年生 企業見学>

【保護者向けキャリアセミナー】

令和7年5月24日（土）、鹿児島高専学年横断学科縦断講義室（旧図書館2階）で「保護者向けキャリアセミナー」が開催されました。

これは、最近の高専生を取り巻く進路状況等も変わりつつあることから、学生の進路決定の際に一番の相談者である保護者に対し、本校の全体的な進路状況と最近の傾向等について情報提供することを目的に、本校キャリア支援室が主催し開催されたものです。

鹿児島高専テクノクラブ（KTC）からは夏季及び春季の長期休暇中に実施されるKTCインターン（有償）に関する説明。また、会員企業のポスター展示やパンフレット配布を行い、会員企業の情報発信を行いました。

なお、実施内容の詳細は次のとおりです。

- ・本校の就職や進学に関する最近の状況や傾向についての情報提供
- ・本校で学生に展開されている進路情報についての情報共有
- ・進路活動に関するスケジュール
- ・KTCインターンおよびKTC企業の紹介



<白石キャリア支援室長の説明>



<KTC 企業紹介・展示の様子>

【KTCインターン（有償）】

本取り組みは、低学年生のうちからものづくりの就業を体験することで、自らの専門性が社会の中でどのように活かされているかを知ることや、地元を支えている KTC 企業及び社会人と触れ合うことで、仕事に対するやりがいや多様な価値観について学び、自らのキャリア形成を考える機会とすることを目的として、本校のキャリア支援室と連携し令和 5 年度から実施しているものです。

説明会を7月9日（水）、本校学年横断学科縦断講義室（旧図書館2階）で開催し、インターン受け入れ可能な KTC 会員企業 19 社のうち 16 社が来校され、個別ブースを設け参加学生 113 名に対して直接詳細な説明をいただきました。

インターンは夏季休業中（8月中旬～9月末）及び春季休業中（2月中旬～3月末）に有償で実施され、延べ49名の学生が就業体験しました。参加した学生からは次のような感想が寄せられ、大変有意義な体験となっていることから、次年度以降も継続して実施することとしています。

- ・実際の現場を見ることで、自分の将来を想像することができた。
- ・自分の知らなかったミクロン単位の世界を体験することができた。部品を作る際にミリメートル単位ではなく、マイクロメートル単位まで正確に仕上げる大変さを知ることができた。
- ・専門的な事を学ぶことができ、これからの高専生活に活かせると感じる内容ばかりだった。
- ・働くとはどういうことか、社会がどのように回っているのかを知ることができた。
- ・実際の工場がどのような製造過程で動いているのか、またその会社の雰囲気がどのようなものかを、実体験を通じて理解できた。



《全体説明の様子》



《個別説明の様子》



《個別説明の様子》



《個別説明の様子》



《個別説明の様子》



《個別説明の様子》